

学校保健

知得情報

って

する



千葉県教育庁教育振興部
学校安全保健課保健班
平成23年9月発行

結核は、過去の病気ではありません。現代の病気です！

平成22年の1年間で、全国で23,261人が結核を発症しており、千葉県も1,074人発症しています。このことは、結核が「過去の病気」ではなく、今なお、「我が国最大級の感染症」の一つとなっていることから、「現代の病気」であることを示しています。

学校は、集団で生活する場所ですので、結核の早期発見・早期対応（治療等）に努めてください。以下、結核に関する基礎知識を取り上げてみましたので、自身の健康管理や指導の場面において活用してください。なお、今年度の結核予防週間は9月24日（土）～30日（金）となっています。

1 結核とはどんな病気？

結核菌によって主に肺に炎症を起こします。肺結核の初期は、咳、痰、発熱（多くの場合38℃以下）症状が、2週間以上続きます。その後、軽快、悪化を繰り返し徐々に進行し、全身倦怠感、血痰、喀血、呼吸困難などの症状が出ます。

2 どうやって感染するの？

主に結核菌を排出している結核患者が、咳やくしゃみをしたときに、飛散する結核菌を含んだ飛沫（しぶき）を吸い込むことにより感染します。

3 潜伏期間は？

結核菌は、感染しても増殖速度が遅く（1個の結核菌が2個に増えるのに15時間かかる。大腸菌では20分）、ツベルクリン反応（※1）やQFT検査（※2）が陽性になるには、約2ヶ月かかります。

感染者の10%～20%が発病し、また発病者のうち80%の者は、感染後2年以内に発病すると言われています。

4 予防方法及び対処方法は？

- (1) 定期の健康診断を受け、早期発見に努めましょう。
- (2) かぜのような症状が2週間以上続く場合には医療機関を受診しましょう。また、咳が続くときは、マナーとしてマスクを着用しましょう。
- (3) 免疫力が低下しないように規則正しい生活を送りましょう。また、栄養バランスの良い食事と十分な睡眠、適度な運動などが大切です。
- (4) BCGは重症になりやすい乳幼児期の結核を防ぐ効果があり、定期予防接種として、生後6ヶ月までに受けることになっています。

※ツベルクリン反応・・・結核菌が体内に侵入しているかどうか、アレルギー反応を検査します。

※QFT検査（クオンティフェロン[®] TBゴールド）・・・・・・血液検査をして、結核の感染を調べます。

参考：県健康福祉部疾病対策課感染症対策室 参考（結核）、公益財団法人結核予防会結核Q&A・結核の常識2011

この「知得情報」は、校内で印刷し、職員全員に配布をお願いします。また、必要に応じて、保護者等にも周知してください。